

社会福祉法人 真澄児童福祉会
佐助保育園

2019年度 事業計画

はじめに

喫緊の課題である保育所待機児童の解消を図るため、鎌倉市が旧横浜地方法務局鎌倉出張所の土地及び建物を活用し、民間事業者主体による認可保育所の公募を行い、真澄児童福祉会が運営法人として選定され2019年4月開所に向けて準備を進めてまいりました。

新園開所、職員の異動、多くの新規採用職員の雇用、補修を含めた改修工事など難関と考えられる部分も多くありましたが、職員間で一致団結し取り組み、思いを共有することで大きな問題もなく開所を迎えることができます。

開所後は民間保育所の持つ迅速性や柔軟性を活かして子どもの発達や保護者の就労を支援するとともに、地域の子育て支援にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

子どもたちの笑顔、保護者の方が安心して預けることができる保育園を運営していくことを何よりも大切に、子どもたち、保護者の方に真摯に向き合うことを忘れずに運営していきます。

保育理念

- ・一人一人の個性を尊重し、社会の一員として充実した人生を歩む基礎づくりをする
- ・子どもの心とからだ（生きる力）の基礎を育む
- ・子どもの最善の利益と福祉の増進

保育目標

- ・よく遊ぶ子ども
- ・仲良く遊べる子ども
- ・自分でできることは自分でする子ども

基本方針

- ・子どもの言動に意味のあることを知り、受け止め、共感する保育をします。
- ・健康、安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心とからだを育つように、愛情と誠意をもった保育をします。
- ・一人一人の成長の芽を大切に、遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育を大切にします。
- ・子どもと保護者の置かれた状況や意向を受け止めながら、保護者と手を取り合い子育ての喜びや楽しさを共感しあえる保育を目指します。

職員

深見台保育園からは4名、富士見保育園からは5名の異動、14名の職員（非常勤職員2名を含む）を新規雇用しました。

新規開園をスムーズに行い、安全でゆとりのある安定した保育の充実を図る配置を行いました。また、特別支援児の対応、年度内の入園児、一時保育の受け入れ増加が見込まれることを含め、充実保育士を定数より多く配置しています。充実した保育を行うことを目的とし、クラスの状況等を含めて職員の配置を考え、様々な状況に対応できるように努めます。職員が心身共に健康で充実した気持ちで保育に臨むことができる、働きやすく、やりがいのある環境作りに努めます。

取り組み

・人材育成

保育方針及び理念を共有し、同じ目的をもって保育に臨むという意識を高め、子どもへのかかわり、保護者へのかかわり、地域の方へのかかわりを行いたいと考えています。

法人の理念を共有し保育に取り組む環境を作ること、保育の具体的な手順を明文化することで標準化を図り保育の質の向上を目指すことを目的とし、マニュアルを作成し、それを基に保育の共通理解に努めます。臨機応変な対応が求められる場面もありますが、日頃より、共通理解を深め、理念を共有していれば、統一した見解での対応が可能であると考えられます。

・研修

人材育成の方針及び求められる職員像を明らかにし職員育成に努めます。計画に基づいて、個々の目標に応じて研修に参加し、資質向上並びに保育技術の向上につなげられるように努めます。また、個々の職員が研修で得た知識、技術を園内研修を通して職員全体で共有します。それらに加え、新規採用者の資質及び技術の向上に努めるために、担当者を決めたOJTを積極的に取り入れることを考えています。

・日常業務の効率化

標準化を目指し、日常業務の効率化を行います。業務を効果的で効率的に行うために、分担化及び同期化を進めていきます。できるかぎり、人によって仕事の量が偏ることを減らし、また時に補い合いながら仕事を進めることで、働きやすい職場を作ります。同じ仕事でも人によってやり方が違う、同じ書類でも人によって記入方法が違い、そのために、戸惑いや間違いが生じてしまうことのないように、業務内容を統一し、質の高い仕事をするを容易にする標準化を目指します。標準化を進めることで、仕事の質を一定の水準に維持することができるとともに、日常業務の効率化が図られます。また、新規採用職員も仕事に早く慣れることができます。

・計画化

事前に想定されるものをできるだけ書き出し、スムーズに効果的に仕事をし、できるかぎり良い結果を出すようにするために、計画を立てて業務を行います。

1. 前日の準備や当日の詳細なチェックによるものの回避。
2. そのつと意思決定を求める無駄な時間の回避。
3. 問題の事前処理による無駄な時間と労力の回避。

そのために

- ㉓ 会議や打ち合わせの出席者及び内容の精査
- ㉓ 会議や打ち合わせの事前の議題提案及び内容確認の徹底
- ㉓ 各業務（行事、係）のファイル化 行事計画表の作成に加え、今までの話し合いの内容や反省、配布物等も含めてまとめます。

・災害対策

施設の耐震化はされており、津波浸水区域ではありませんが、様々な災害、状況を想定した訓練を行い、災害に関する意識の向上に努め、職員で共通した理解を持つことが必要であると考えています。

・異年齢交流

ワンフロアでの保育のメリットを最大限に生かし、「縦割りグループ」「コーナー設定による異年齢保育」を、重点的に実施します。カリキュラム会議等で話し合い、計画的かつ継続的に実施できるように心掛けます。担任しているクラスの園児だけではなく、多くの園児の状況を把握すること、緊張感をもって保育にあたる自覚を促すことも目指します。

・保護者とのかかわり

① 挨拶

基本である「挨拶」を元気な声で明るくすることを心掛け、立ち止まり、顔を見て、頭を下げて行うことが出来るように徹底します。

送迎時におけるコミュニケーションも、担任している子どもだけではなく全員にきちんとした言葉掛けができるように心掛けていきたいと思えます。

利用者の方が気持ちよく施設を利用し、安心して子どもを預けられる気持ちの良い環境づくりを目指します。

② アンケートの実施

苦情という形になる前の保護者からの意見を、汲み取るためにも行事等の後のアンケートを引き続き実施します。保護者からの意見を真摯に受け止め、職員会議やクラス会議を含めて様々な話し合いの場を通して、問題があれば解決に臨み、子どもの

こと、保護者のことを大切に考える姿勢を大切にし、保育に臨みます。

・地域とのかかわり

①かまくらたんけん

「かまくらたんけん」と名付け、地域の様々な場所に出向き、多くの方とのかかわりたいと考えております。施設やお店の方とのかかわり、地方から来た方とのかかわり、そして世界中から来た方とのかかわりを通して、いろいろな活動への広がり考えられます。毎週積極的に行います。

②地域

地域の方とのかかわりを大切にすることは非常に重要であると考えております。町内会を始め、近隣の方とコミュニケーションをとり、ご意見を戴くことを大切にします。また、子育てを社会全体で支援するために、地域のニーズの汲み上げ及び子育て支援に対する職員間での情報の共有を課題にし、取り組んでいきたいと考えています。

・外部受け入れ

① 実習生

新園の為、受け入れの依頼は少ないことが考えられますが、依頼があった場合には積極的に受け入れます。実習生の指導を通じ、保育士も自らの保育について改めて見つめ直していくことに努め、長期的及び短期的な人材育成を見据えたものとしてします。

② ボランティア・体験学習

様々な世代の方との交流で豊かな体験をすることで、より良い成長が促されることを目的として、ボランティア受け入れ及び体験交流を行います。

・一時預かり保育事業

・一時的に保育が出来ない場合（病気・出産・看護・就労支援・育児不安・リフレッシュ等）の保護者の支援を行います。

2019年度 社会福祉法人 真澄児童福祉会 佐助保育園事業計画（案）を提出します。
役員各位によるご審議とご承認を頂いた上で事業の執行にあたりたいと思います。

2019年3月
社会福祉法人 真澄児童福祉会
佐助保育園
理事長 山下 隆